

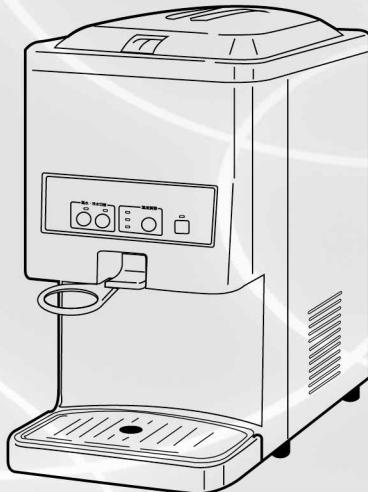
日本製

NAKATOMI

取扱説明書

ウォータークーラー ボトル形

NWF-W18B2 / NWF-W12B2 業務用



○このたびは弊社ウォータークーラーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してお使いください。

○お読みになったあとは、いつもお手元においてご使用ください。

○保証書を必ずお受け取りください。

もくじ

安全上のご注意	2 ~ 3
各部のなまえとはたらき	4
お使いになる前に	5
使いかた	6 ~ 7
お使いになったあと	7
お手入れのしかた	8 ~ 10
故障かな?と思ったとき	10 ~ 11
仕様	11
保証とアフターサービス	12

安全上のご注意

必ずお守りください

商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

警告  「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定される内容」を示します。

注意  「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定される内容」を示します。

*1: 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要しない、けが、やけど、感電などをさします。

*3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかる拡大損害をさします。

図記号の説明

 ○は、禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

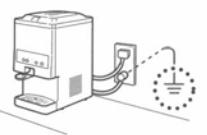
 ●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。
具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

 △は、注意を示します。
具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

警告

禁止  水のかかる場所や湿気の多い場所、
油煙を直接吸い込む場所
には据え付けない

感電・火災・熱交換器腐食の
原因になります。

アース（接地）を取り付ける
設置場所によっては、漏電ブレーカー
も取り付ける
 アースを
取り付ける
取り付けてないと、漏電したとき
に感電・火災の原因になります。
アース工事はお買い上げの販売
店に依頼してください。


禁止  空気の吸気口や排気口に指や細い棒など
を入れない

内部でファンが高速回転して
いますので、けがの原因にな
ります。

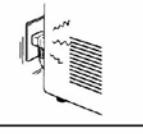
禁止  電源は交流 100V で、定格 15A 以上
のコンセントを単独で使用する
100V、定格
15A 以上
延長コードの使用、タコ足配線は
火災・感電の原因になります。


確実に差し込む  電源プラグはコンセントに刃の根元まで確実に差し込む
確実に
差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や
発熱による火災の原因になります。


プラグをコンセントから抜く  焦げ臭いなどの異常がある場合は、す
ぐに運転を停止して電源プラグを抜く
異常のまま運転を続けると感電や火災の原因にな
ります。お買い上げの販売店へご連絡ください。

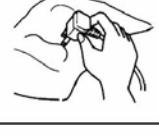
床が丈夫で水平な所に確実に据え付ける  転倒・落下によるけがや振動・騒音
発生・やけどの原因になります。

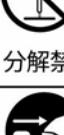

禁止  車両や船舶などでは使用しない
禁止
転倒・落下によるけがや振動・騒音発生・やけど
の原因になります。

禁止  電源プラグや電源コードを傷つけ
たり、製品の背面で押し付けたり
しない
禁止
束ねたり、折り曲げたり、重いものを
載せたり、製品の背面で押し付けたり
すると、火災・感電の原因になります。


禁止  ぬれた手で電源プラグを持たない
水ぬれ
禁止
ぬれた手で電源プラグを持たない
ぬれた手で電源プラグを持たない
感電の原因となります。


禁止  電源コードや電源プラグが傷んで
いたり、コンセントの差しこみが
ゆるいときは使用しない
禁止
感電・ショート・発火の原因に
なります。


定期的に取る  電源プラグのほこりは定期的に取る
定期的に取る
電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。絶縁不良になり、火災の原因になります。


分解・改造・修理をしない  分解・改造・修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い
上げの販売店にご連絡ください。


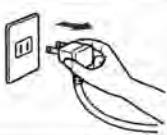
本体の掃除は、必ず電源プラグを
抜き、タンク内の湯をさましてから行う
本体の掃除は、必ず電源プラグを
抜き、タンク内の湯をさましてから行う
感電ややけどの原因になります。

(警告つづき)



長期間ご使用にならないときやお手入れのときは、必ず排水し、電源プラグをコンセントから抜く

飲物の腐敗や絶縁劣化による感電、漏電、漏電による火災の原因になります。



電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く

火災・感電の原因になります。



製品の上に乗ったり、物を載せたりしない

禁止



温水運転時、子供だけで使わせない

禁止



給水時、飲物をあふれさせない

禁止

電気絶縁が劣化し、感電・火災の原因になります。



可燃性スプレーを近くで使わない

禁止

電気接点のスパークで引火する原因になります。



清掃時などに本体に水をかけない

指示

電気絶縁が劣化し、感電・火災の原因になります。



タンク内の飲物は毎日入れ替える

指示

飲物が腐敗し、健康を害する原因になります。



周囲はすき間をあけること

すき間を開ける

周囲は 10 センチメートル以上すき間を開けてください。すき間を開けないと故障や火災の原因になります。



空だきしないこと

禁止

故障や火災、やけどの原因になります。



周囲はすき間を開けること

周囲は 10 センチメートル以上すき間を開けてください。すき間を開けないと故障や火災の原因になります。



飲物の冷却以外には使用しない

禁止

薬品・動植物など特殊用途に使用すると、やけど・故障の原因になります。



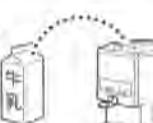
傾けたり、ゆすったり、湯を入れたままで移動しない

湯が流れ出て、やけどの原因になります。



牛乳など腐敗するおそれのある飲物は入れない

健康を害する原因になります。



転倒させない

湯が流れ出て、やけどの原因になります。



特殊な環境では設置場所に注意する

潮風が直接当たる場所や温泉地帯など周囲環境が特殊な場所でご使用される場合は設置場所に注意する。



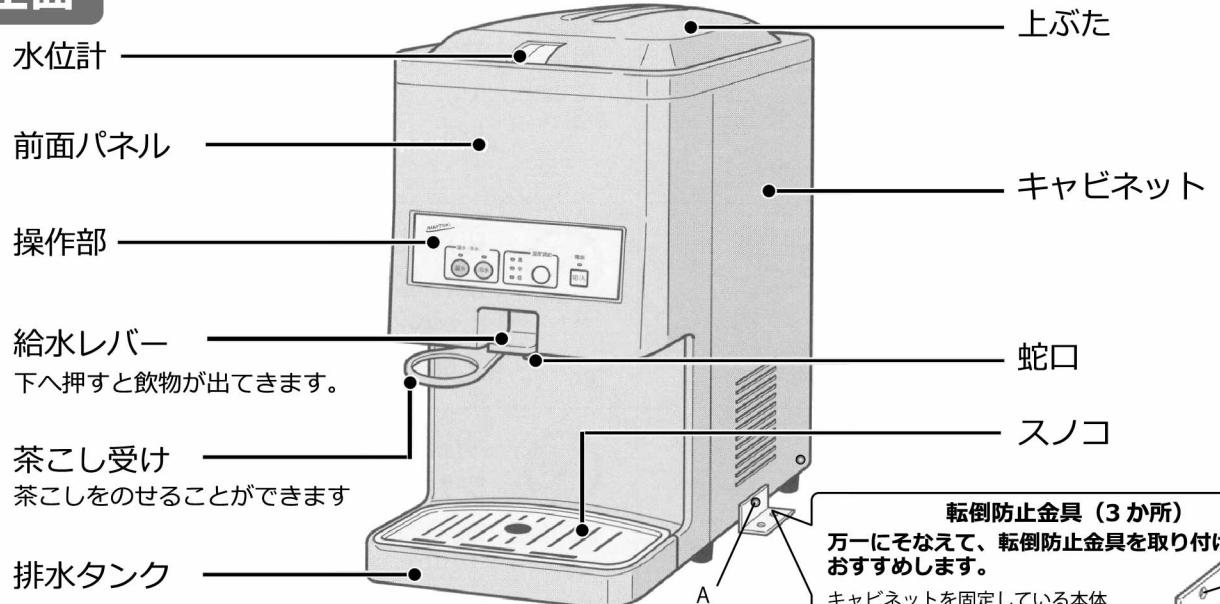
タンク約八分目以上飲物を入れない

禁止

湯があふれ、やけどの原因になります。

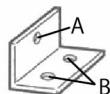
各部のなまえとはたらき

正面

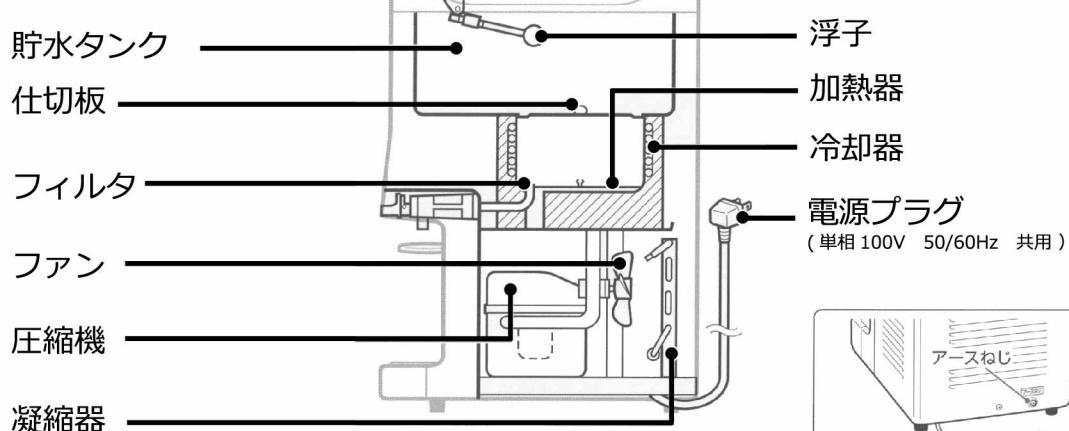


転倒防止金具（3か所）
万一にそなえて、転倒防止金具を取り付けることをおすすめします。

キャビネットを固定している本体側面の2か所と後面の1ヶ所のネジAをドライバーで外し、転倒防止金具を取り付けてしっかりと固定してください。
尚、Bの穴に使用するネジについては設置する場所にあつたネジをご用意ください。



断面



操作部

冷水ランプ
冷水運転時に点灯（緑）します。

温水ランプ
温水運転時に点灯（橙）します。

温水運転ボタン
温水にするときに押します。

冷水運転ボタン
冷水にするときに押します。

●40°C以上の飲物が入っている状態で、
冷水運転に切り替えないようにして
ください。
圧縮機の機能に悪影響を与えます。

温度調節ボタン

冷水・温水温度を3段階に設定します。

電源ランプ

- 電源「入」のときに点灯（赤）し、「切」のときに消灯します。
- 空だき運転時には、電源ランプが点滅し自動的に運転を停止します。

温度調節ランプ

温度調節ボタンで設定したランプが点灯します。

電源ボタン

押すたびに電源「入」「切」をくり返し、運転中は電源ランプが「赤色」に点灯します。

お使いになる前に



**水のかかる場所や湿気の多い場所には
据え付けない**
感電・火災の原因になります。



床が丈夫で水平な所に確実に据え付ける
転倒・落下によるけがや振動・騒音発生の原因になります。

1 据え付ける場所を選ぶ

- 周囲は10cm以上すき間をあけてください。すき間が少ないと冷却力が低下し、電気代のムダになります。また、底面のすき間には物を入れないでください。放熱が悪くなります。
- 直射日光や発熱器具のそばに置かないでください。
冷却力の低下をおさえ、電気代のムダを防ぎます。
- 周囲温度が0℃以下になり凍結するおそれがある場所へは据え付けないでください。周囲温度が0℃以下になり、凍結するおそれがあるときは、必ず水抜きを行ってください。
- 周囲温度が35℃以上になりますと、冷却力が弱くなります。



2 アースを接続する

**万一の感電事故防止のために、アース（接地）
することをおすすめします。**

次の場所で使うときは、アース（接地）および漏電ブレーカーを取り付けてください。

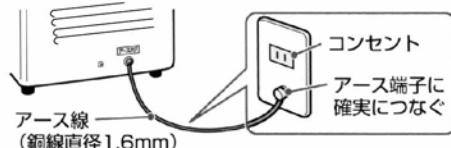
- 地下室などの湿気の多い所
- その他温氣の多い所や水気のある所

接続してはいけない所

水道管やガス管（爆発や引火の危険があります）
電話線や避雷針のアース（落雷のときに危険です）

コンセントにアース端子がある場合

アース線（商品には付属していません）を使い、背面下部のアース線取付用ねじに接続してください。



アース端子がない場合

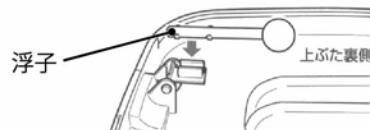
お買い上げの販売店に依頼し、D種接地工事（有料）をしてください。

特に水気（湿気）の多い所に据え付ける場合

アース（接地）の他に漏電ブレーカーの設置が義務付けられています。
取付工事（有料）はお買い上げの販売店にご相談ください。

3 浮子を固定しているテープをはずす

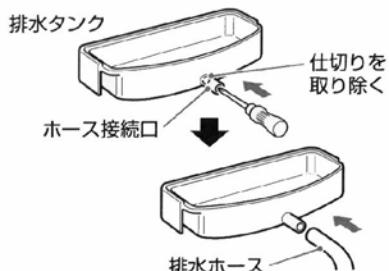
- 上ぶたの裏に取り付けている浮子がはずれた場合は、図のように取り付けてください。



4 排水のしつかたを選ぶ

排水ホースを使用する場合

- 排水タンクを手前に引き出す。
- 排水タンク後面のホース接続口の仕切りをドライバーなどを差し込んで取り除く。
- ホース接続口へ市販のビニールホース（内径15mm程度）を差し込む。
排水ホースを排水タンクより低くしてください。高くすると排水できなくなります。
- ホース接続口から水漏れしないか確認する。



排水タンクにためる場合

排水タンクはそのままで使用し、こまめに貯まった水を捨ててください。

貯水タンクに入れてよい飲物と入れてはいけない飲物

入れてよい飲物	入れてはいけない飲物
<ul style="list-style-type: none">飲料水むぎ茶	<ul style="list-style-type: none">腐敗しやすいもの（牛乳・生菌乳酸飲料など）塩分を含むもの（そばつゆ・みそ汁など）果汁飲料など粘度の高いもの固体分が混入している飲物やお酒、炭酸飲料

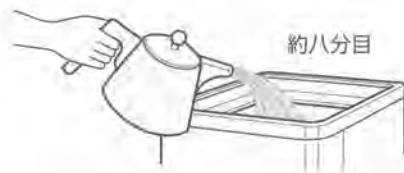
※浄水器を通してカルキを抜いた水は悪くなりやすいので、長時間くみおくことは避けてください。

使い方

はじめてお使いになるときは、貯水タンク内と仕切板を、食器用中性洗剤や食器用クレンザーなどで洗い、きれいな水で洗剤分が残らないように十分に洗い流してから、仕切板を確実に取り付けてください。

1 上ぶたをあけて、飲物を貯水タンクへ静かに入れる

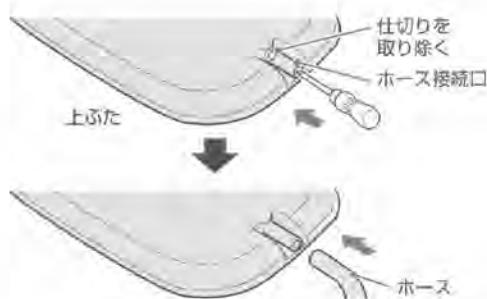
- 貯水タンクに約八分目の飲物を入れますと、水位計で「満水」になります。
お茶、むぎ茶などを冷やす場合は、「茶こし」などで一度こしてからタンク内に入れてください。
- 飲物を入れたら、上ぶたを確実に取り付けてください。



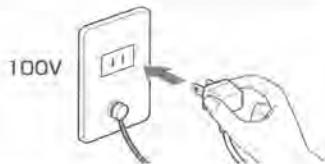
お願い ●40℃以上の水を入れて冷水運転しないでください。
圧縮機の機能に悪影響を与えます。

水をホースで入れる場合

1. 上ぶた後部のホース接続口の仕切りをドライバーなどを差し込んで取り除く。
2. ホース接続口に市販のビニールホース（内径15mm程度）を接続する。（市販のビニールホースは飲料水用（食品衛生適合品）でおいの少ないものをお選びください。）
3. 上ぶたを本体に取り付ける。
4. 水位計を見ながら「満水」の位置まで水を入れる。
5. ホース接続口から水漏れしないか確認する。



2 電源プラグを交流100Vの単独コンセントに差し込む



3 電源 切/入 を押す

- 電源ランプが点灯し、冷水運転を開始します。
温度設定は「中」に設定されています。

お願い 必ず、給水してから電源ボタンを押してください。

あたたかい飲物にするときは

温水 を押す

- 温水ランプが点灯し、温水運転を開始します。

お願い 温水運転中、冷水運転に切り替えないようご注意ください。
また、冷水運転中に温水運転に切り替えないようご注意ください。
圧縮機の機能に悪影響を与えます。



4 温度調節 温度調節の目安 を押し、お好みの温度に設定する

ボタンを押すたびに、「高」「低」「中」と切り替わります。

温度調節の目安

	高	中	低
冷水	約12℃	約8℃	約5℃
温水	約90℃	約85℃	約75℃



お願い ●本商品は標高1000m以上の高地でご使用される場合、「高」または「中」運転では、気圧の関係で沸騰するおそれがあります。必ず「低」運転でご使用ください。

5 給水レバーを押し、飲物を出す

- 運転開始後「冷水」の場合は約30分で、「温水」の場合は約100分で飲みごろの温度となります。
(温度設定「中」、満水で約25℃の飲物を入れた場合)



連続して飲物を出すとき

給水レバーを軽く持ち上げると、給水レバーが固定され、連続給水します。
連続給水が終わりましたら給水レバーを下に押し、元にもどしますと、飲物が止まります。



茶こし受けの使い方

お茶などを飲むときには、茶こしを茶こし受けにかけて使用してください。



飲物の補給のしかた

水位計の表示が「給水」になりましたら飲物を補給してください。



電源プラグを抜いて再び差し込むとき

電源プラグを抜いて再び差し込むときは、3分以上の間をおいてください。
3分以上の間をおかないと、圧縮機にムリがかかり故障の原因になることがあります。



お願い

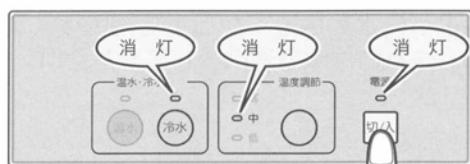
- 貯水タンク内の飲物が空にならないようにしてください。空だき運転をしますと製品の寿命を短くします。空だき運転時には電源ランプが点滅し自動的に運転を停止します。その場合はすぐに飲物を補給してください。補給後、電源ボタンを押し、いったん「切」にしてから、もう一度電源ボタンを押し「入」してください。
- 仕切板は常に取り付けてご使用ください。
- ホースをつけたまま、長い間放置しておきますとホース内の水に臭いが移ることがあります。
- お使いはじめは飲物にプラスチックの臭いが付くことがあります。臭いがある場合、貯水タンク内の飲物がなくなるまで、給水レバーを押して、飲物を蛇口から流し出してから、再度、飲物を入れてください。
- 排水時に排水タンクのお湯に手を触れないでください。やけどの原因になります。

お使いになったあと

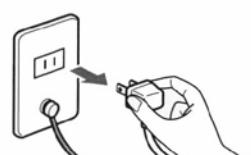
電源

1 切/入 を押す

- 電源ランプが消灯し、運転が停止します。



2 電源プラグをコンセントから抜く



3 貯水タンク、排水タンクの飲物をすべて清掃する

お手入れのしかた

ウォータークラーを長持ちさせ衛生的にお使いいい
ただくために、お手入れをしてください。

警告



本体に水をかけない
電気絶縁が劣化し、感電・
火災の原因になります。



タンク内の飲物は毎日
入れ替える

飲物が腐敗し、健康を害す
る原因になります。



長期間ご使用にならないとき
やお手入れのときは、必ず排
水し、電源プラグをコンセン
トから抜く

飲物の腐敗や絶縁劣化による感電、
漏電による火災の原因になります。

1日に1回はお手入れをしてください。

手順

準備

- 電源ボタンを「切」にする
- 電源プラグをコンセントから抜く
- 貯水タンク、排水タンクの飲物を
捨てる

各部のお手入れ

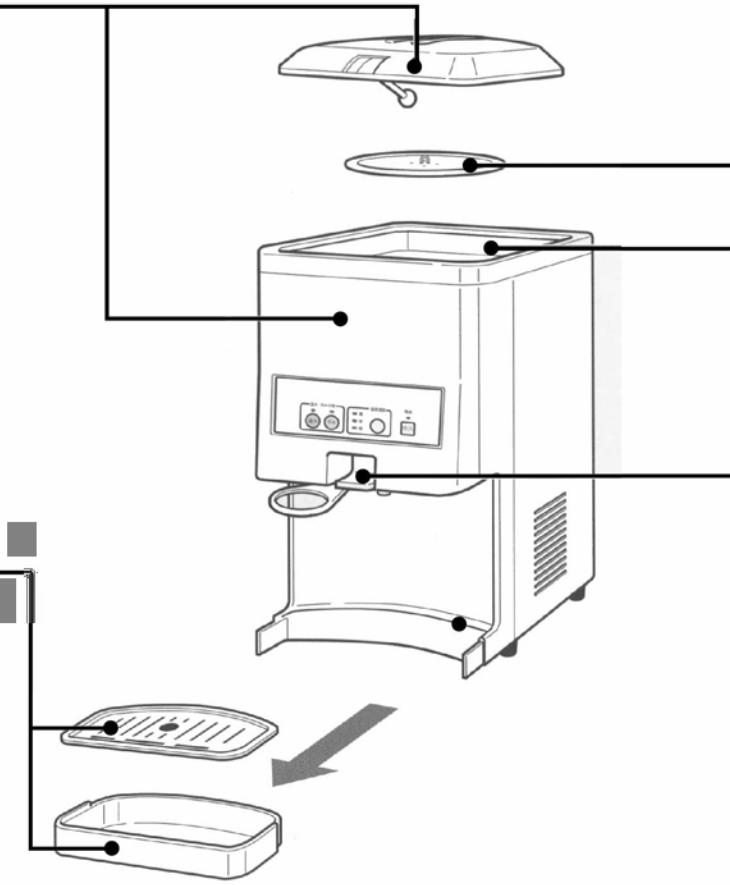
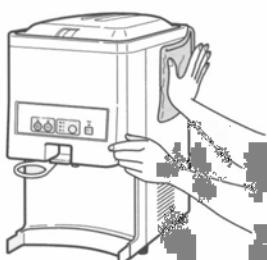
説明にしたがって各部
のお手入れをする

部品を元どおり
に取り付ける

本体・上ぶた

やわらかい布を水にひたしてしぼり、汚れを
ふきとったあと、からぶきをする

汚れがひどいときは、柔らかい
布に中性洗剤を入れたぬるま湯
をふくませてふいたあと洗剤分
が残らないよう、きれいな水を
ふくませ柔らかい布でふきと
ってください。



排水タンク・スノコ

排水タンクに水をためてお使いの場合は、こぼれ
ないように水を捨ててから食器用中性洗剤などで
洗い、きれいな水で洗い流してください。



お願い

- ミガキ粉、たわし、ベンジン、シンナー、アルコールなどは使わないでください。(塗装やプラスチック面をいためます。)
- 上ぶた、前面パネル、排水タンクなどのプラスチック部品に直接温水をかけないでください。熱で変形する恐れがあります。
- 食器用中性洗剤を使ったあとは、洗剤分が残らないようによく水洗いしてください。
- アース線が断線したり、ネジからはずれたりしていないか、ときどき確かめてください。
- 「給水レバー」を取り付けたのち、確実に取り付けられているか、確認してください。

貯水タンク、仕切板

温水での使用時は、お湯を冷ましてから取り出してください。やけどの原因になります。

1. 貯水タンクの飲物を捨てる。

連続して飲物を出すとき（7ページ）を参照して排水してください。

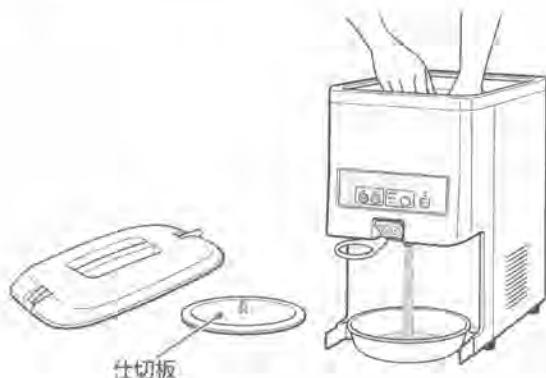
2. タンク内に付いている仕切板を取り出す。

3. タンク内と仕切板を食器用中性洗剤などで洗い、洗剤分が残らないようによく水洗いする。

4. 仕切板をもとの位置に確実に取り付ける。

お知らせ

- 飲物に含まれる鉄分が付着して、さびることがあります。
さびや水あかなどが付着しないよう、常に掃除してください。



蛇口・給水レバー

一週間に一度または、茶がらなどが蛇口内につまつた場合にも掃除してください。

1. 貯水タンク内の飲物を捨てる。

連続して飲物を出すとき（7ページ）を参照して排水してください。

2. 給水レバーを蛇口本体からはずす。

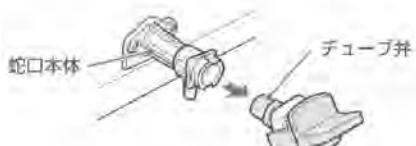
「給水レバー」を上方に持ち上げてから、左の方向（反時計回り）に約 90 度回してから引き出し、はずしてください。



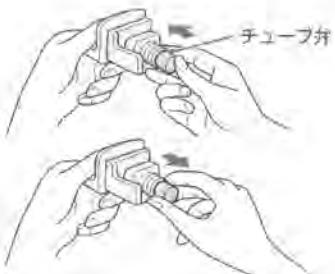
3. 「蛇口本体」内と「給水レバー」、「チューブ弁」をよく洗う。

給水レバーに付いているチューブ弁をはずして洗ったとき

「給水レバー」に付いている「チューブ弁」は、つまんで引っ張るとはずれます。チューブ弁をはずしたときは、確実に取り付けてください。



①「チューブ弁」先端の中央部を押しながら回し、はめこむ。



②はめこんだ後、「チューブ弁」を軽く引っ張り、はまっていることを確認する。

4. 「給水レバー」をはずしたときと逆の手順で蛇口本体に取り付ける。

①「給水レバー」をはずしたときと同じ状態（レバーが持ち上がり反時計回りに約 90 度回転した）にして「蛇口本体」に押し当てる。



②時計回りに約 90 度回転させる。

③「給水レバー」を押し下げ、元にもどす。

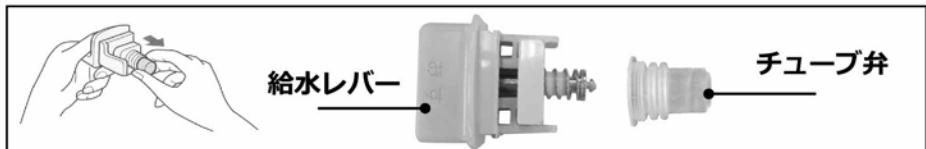
蛇口ガイド

給水レバーの動きが固くなった場合には、以下の方法で蛇口ガイドを清掃してください。

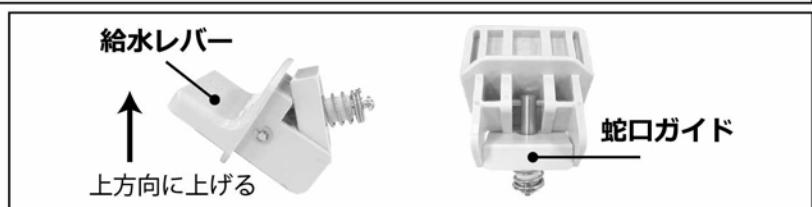
1. 「給水レバー」を蛇口本体から外す。

8・9ページの「お手入れのしかた」をよく読み、注意事項を守って外してください。

2. 「給水レバー」に付いている「チューブ弁」を外す。

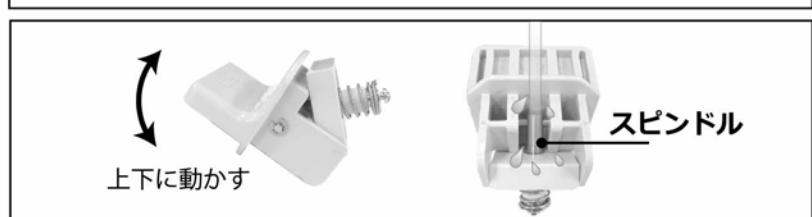


3. 「給水レバー」を上方向に持ち上げ、「蛇口ガイド」をよく水洗いする。



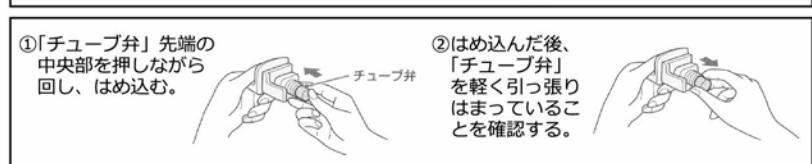
4. 「給水レバー」を上下に動かし、「蛇口ガイド」と「スピンドル」の間に通水しながら水洗いする。

異物等が付着している場合は、綿棒などで、軽くこすって洗い流してください。



5. 「チューブ弁」を「給水レバー」に取り付ける。

確実に取付けられていない場合、水漏れまたは、水がよく出ない場合があります。



6. 「給水レバー」を外したときと逆の手順で蛇口本体に取り付ける。

「給水レバー」の取り付けは、取扱説明書の9ページ「蛇口・給水レバー」をよく読み、注意事項を守って行ってください。

故障かな？と思ったとき

このようなとき	お調べいただくこと
運転しないとき	●電源プラグがコンセントにしっかりと入っていますか。●電源ランプが点灯していますか。 ●停電ではありませんか。
よく冷えないとき	●周囲温度が35℃以上になっていませんか。 ●直射日光が当たったり、近くにコンロやレンジなどがありますか。 ●周囲のすき間は適切ですか。●本体の側面の吸気口、背面の排気口をふさいでいませんか。 ●飲物を補給したばかりではありませんか。 ●温度調節が「高」(約12℃)になっていませんか。●温かい湯を入れたのではありませんか。 ●一度に多量に(3リットル以上)使いませんでしたか。
よく温まらないとき	●温度調節が「低」(約75℃)になっていませんか。●飲物を補給したばかりではありませんか。 ●上ぶたが完全にしまっていますか。●タンク内の仕切板を取り付けていますか。 ●一度に多量に(3リットル以上)使いませんでしたか。
音がうるさいとき	●据付面がしっかりとしていますか。●据付面が悪くがたついていませんか。 ●ウォーターサーバーに物がふれていませんか。
水が出ないとき	●水が入っていますか。●蛇口の「チューブ」がしっかりとまっていますか。 ●お茶の葉などが貯水タンク内のフィルターや蛇口につまっていますか。
蛇口の水切れが悪いとき 蛇口より水漏れするとき	●蛇口は掃除されていますか。●蛇口内に水あかや茶がらなどがつまっていますか。 (9ページをご覧の上、掃除してください。)
電源ランプ(赤)が点滅しているとき	●水が入っていますか。(貯水タンクが空になっていますか。)
貯水タンクがさびるとき	●お手入れをしていますか。(9ページをご覧の上、掃除してください。)

次の症状は異常ではありません

このようなとき	理由
蛇口などに露がつく	●これはコップに水を注いだとき、まわりに水滴がつくのと同じです。
冷水運転をしているとき、ときどき水の流れるような音がする	●これは冷凍サイクルの中の冷却液が流れる音（シュー）です。
冷水運転をしているとき、貯水タンクに氷ができる	●冷却・加熱タンク内表面温度は0℃以下になりますので、氷ができることがあります。
温水運転をしているとき、沸騰しているような音がする	●これはやかんなどでお湯を沸かすとき、沸騰する前に出る音と同じです。
温水運転をしているとき、タンク底部のヒーター取付部の色が変わる	●これは高温になるための現象で性能的・寿命的には問題ありません。
お使いはじめは飲物にプラスチックの臭いが付くことがあります	●臭いがある場合、貯水タンク内の飲物がなくなるまで給水レバーを押して、飲物を蛇口から流してから、再度、飲物を入れてください。

仕様

型式	NWF-W18B2	NWF-W12B2
タンク容量	18L	12L
外形寸法	幅300×奥行460×高さ610mm	幅300×奥行460×高さ560mm
定格電圧(周波数)	100V(50/60Hz共用)	
定格消費電力 冷水(50/60Hz)	151/155W	
温水(50/60Hz)	600/600W	
冷水供給能力	約6L/h	
標準使用可能人員	約50人	
冷媒	HFC-134a	
冷媒封入量	55g	
排水装置	排水タンク(1.2L)	
電源コード(機外長)	2m	
製品質量	18kg	
付属品	茶こし受け、フィルター、転倒防止金具(3個)	

- 定格消費電力とは、周囲温度30℃のもとでウォーターサーバーに定格電圧をかけて運転した場合の消費電力です。
- 冷水供給能力は、周囲温度30℃、給水温度30℃、注水温度10℃で算出したものです。
- 標準使用可能人員は一人当たり1時間125cc飲むものとして算出したものです。
- 製品改良のため仕様の一部が、予告なく変わることがあります。
- この商品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では、使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の「お客様相談窓口」までご連絡ください。

株式会社 ナカトミ

お客様相談窓口 TEL.026-245-3105
FAX.026-248-7101

〒382-0836 長野県上高井郡高山村大字高井 6445 番地 2
受付時間 10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00
(土・日・祝日を除く)
商品紹介や取扱説明書のダウンロード等
HP:<http://www.nakatomi-sangyo.com>

※商品の外観や仕様等は改良等のため予告なく変更されることがあります。

●「お客様相談窓口における個人情報のお取り扱いについて」

お客様の個人情報や相談内容を、ご相談への対応や修理、その他確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示、提供しません。お問い合わせは、お客様相談窓口にご連絡ください。

保証書（別添）

- このウォーターカーラーには、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日から1年間です。

補修用性能部品の保有期間

- ウォーターカーラーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することができます。

修理を依頼されるときは

- 10ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源を切り使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎている場合は

修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。お買い上げの販売店にご相談ください。

■アフターサービスについてわからないことは・・・

上記の内容についての詳細・贈答・転居の場合など、その他製品に関するお問い合わせ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

廃棄時のお願い

「フロン回収破壊法」施行にともない、本製品を廃棄する場合はフロン類の回収、破壊の料金、運搬、廃棄の料金が必要になります。廃棄する場合は、使用者ご自身の負担により、専門の回収業者（登録制）に委託し、適切に処理してください。

廃棄についてご不明な点は、各自治体の窓口に確認をお願いいたします。

点検のお願い

長年ご使用のウォーターカーラーの点検を！

■こんな症状はありませんか。

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 電源コードに深いキズや変形がある。
- 焦げくさい臭いがする。
- ウォーターカーラー据付床面にいつも水が溜まっている
- ビリビリと電気を感じる
- その他の異常や故障がある。



故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

安全にご使用いただくために、日ごろから点検を行ってください。
長期間経過したものは、ご使用上支障がなくても安全のため、販売店に定期的に点検を依頼してください。点検費用に関しましては販売店にご相談ください。